

3. 3. 1 工事の歩み

防災センターがいよいよ開館

建設工事は地元の施工会社である株式会社熊野技建によって落札され、2020年5月に着工しました。1年に渡る工事も丁寧な施工により無事に竣工し、2021年6月から開館となりました。

災害が起きた時に備えるための様々な仕組みはもちろん、これまで行なわれてきたイベントやサークル活動を皆で開催したり、日常的に誰もがふらりと立ち寄っておしゃべりをしたり本を読んで過ごせる居場所や、熊野町の活動や防災についての情報が集まる、大切な役割を持っている拠点となっています。

開館した後にも、これから防災センターづくりの取り組みが、地域の皆さんとともに続いていきます。

工事概要

設計・監理：一級建築士事務所 大西麻貴+百田有希 /o+h

施工者：株式会社 熊野技建

工期：2020年5月 - 2021年5月

構造・規模：鉄筋コンクリート造・2階建て

敷地面積：3,765.36m²

建築面積：864.62m²

延床面積：1,208.08m²

最高高さ：13.80m



躯体工事、外装工事が進み、完成形態が見えてきました。



型枠が立ち上ることで外形が見えてきました



丁寧な工事により無事に上棟しました



型枠が外されて建物の骨格ができあがりました



外装が進み、大きな窓ガラスが設置されました



屋根防水が丁寧に施工されました



足場がばらされ、外観が見えてきました

建設工事が着工し、ひとつひとつの工程が丁寧に進みました。



仮囲いの設置や敷地の整地から始まりました



丈夫な地盤にする改良工事を行いました



建物の骨組みとなる配筋が組まれていきました



コンクリートが素早く打設されました



基礎の型枠が外され、形態が見え始めました



土間もできあがりスペースがはっきりしました



1階から2階へと躯体工事が進みました

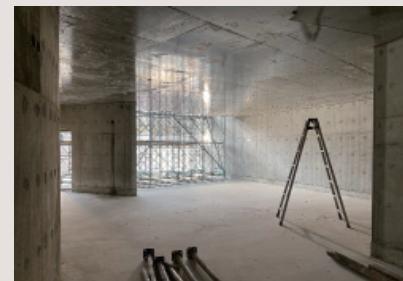


壁、床の型枠がきれいに納まってきました



形態にあわせた鉄筋が施工されていきました

内装工事に着手し、いよいよ竣工が近づいてきました。



内部の型枠が外され躯体が現れてきました



躯体補修や乾式壁の下地が施工されました



2階へと順々に作業が進みました



断熱材を吹き付け、ボード材が設置されました



躯体に対して天井や壁の仕上げが施されました



仕上げが進み最終イメージが見えてきました



仕上がった箇所から照明などが設置されました



製作品の手すりや木製建具が設置されました



床が仕上がりいよいよ完成となりました

3. 3. 2 航空写真でみる工事の進捗

航空写真により1年間の工事の進捗が表れます。(写真提供: 株式会社熊野技建)



2020年9月中旬 艦体の基礎が立ち上がる



2020年10月中旬 1階壁の鉄筋・型枠工事が進む



2021年2月中旬 建物外形が立上り、外装工事が着工



2021年4月初旬 建物周りの足場が解体され、外観が表れる



2021年1月初旬 屋根までの躯体打設が完了し、年を越す



2021年5月初旬 建物本体の工事がおおかた完了し、外構工事が進む

3. 3. 3 完成写真

多くの方々のお力添えの下、無事に竣工を迎えました。



〔駐車場からみる〕 イベント広場上を通過するスロープが屋内までの動線となります



〔南西側からみる〕 自然にとけこむらせんの壁が浸水から建物を守ります



〔正面からみる〕 大きなテラスが車寄せや雨除けスペースとなります



〔敷地西側からみる〕 広場と講義室の一体利用によるペットの同行避難ができます

各諸室にワークショップであがった意見を取り込みました。



キッズルームが隣り合い、見守りながらの利用ができる地域カフェ



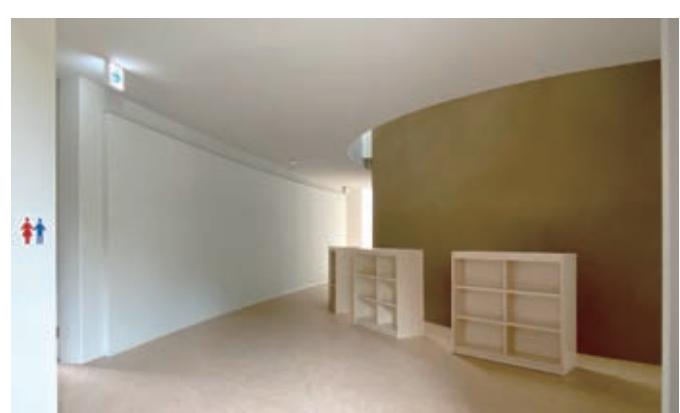
ステージ越しに自然の風景がのぞめる防災ホール



壁面に展示ができ、フリースペースと一緒に利用ができる講義室



ラウンジコーナーと事務室が隣り合うエントランスロビー



多方向から利用ができるライブラリーコーナー①



作業台を連結すると大きなテーブルとなる調理実習室



多目的な利用ができる大きな鏡のある準備室兼控室



自習スペースとして利用できるライブラリーコーナー②